

板橋区 第3回（仮称）産業ミュージアム基本構想・基本計画検討会 会議録	
会議名	（仮称）産業ミュージアム基本構想・基本計画検討会
開催日時	令和7年7月9日（水）14:00～16:00
開催場所	板橋区役所北館11階 第3委員会室
出席者	[委員] 6人（敬称略） 東京大学宇宙線研究所高エネルギー宇宙線研究部門乗鞍観測所所長教授 塚 隆志（会長） 独立行政法人理化学研究所和光研究所中央研究所大森素形材光学研究室 主任研究員 大森 整（副会長） 株式会社トプコン総務・人事・法務本部総務部総務課プロフェッショナル 富田 克則 国立大学法人お茶の水女子大学理系女性育成啓発研究所所長 加藤 美砂子 チームオプト株式会社代表取締役社長 槌田 博文 理研計器株式会社経営企画部副部長兼経営戦略課長 下村 基子 [事務局] 板橋区産業戦略担当課長 山川 信也
会議の公開	公開（傍聴できる）
傍聴者数	2名
議題	（1）（仮称）産業ミュージアム基本構想（概要版）
資料	資料1 （仮称）産業ミュージアム基本構想（概要版） 資料2 今後検討する産業ミュージアムを活用した物理オリンピック日本委員会様との連携事業（案） 参考資料 旧理化学研究所板橋分所（仮称）産業ミュージアムエリア
議事要旨	（1）（仮称）産業ミュージアム基本構想（案） まずは事務局から配付資料のご説明を頂きたい。 事務局 配付資料「資料1（仮称）産業ミュージアム基本構想（概要版）」「資料2 今後検討する産業ミュージアムを活用した物理オリンピック日本委員会様との連携事業（案）」に沿って説明する。資料1については、方向性とソフト事業のキーワードを中心にご意見をいただきたい。

	(資料説明) 会長 事務局からの説明内容について、委員から確認や意見はあるか。 委員 物理オリンピック候補者のための研修場所としての活用について、広さの観点から 10~12 人程度の候補者に絞られた最終選考段階に活用可能と言うことか。 事務局 相違ない。施設側の人数キャパシティと、物理オリンピック側の会場選定状況を踏まえ、その段階のみを今後検討した方がよいという話になった。 委員 施設の一部屋に集まって缶詰形式で勉強するのは良いと思う。 事務局 湯川先生も研究していた部屋なので、歴史的経緯も絡めながら学んでいただき、より興味が深まっていただけるような展開ができればと思う。 委員 基本構想の 3 つの方向性のうち①産業の創造に関連した過去の実績を紹介する。板橋区産業振興公社からの委託で、3 年ほど区内企業を対象に研修をテーマにワークショップを実施していた。結果として、参加企業が事業転換のヒントを得たり、人材交流の機会となったりと良い結果があった。このような機能はいかがか。 事務局 基本構想のコンセプトに「新たなつながりと挑戦が生まれる起点」と記載しており、このコンセプトと合った取組として良いと思う。 委員 物理オリンピック出身者は、その後どのような職についているのか。 事務局
--	---

	元々勉強に強く、物理だけでなく幅広く勉強されている方が多いので、親御さんの勧めもあって医学の道に進まれる方が多い。就職は個人の選択だが、物理分野で引き続き活躍する人が増えると良いと思っている。また、就職前に次世代に教える機会があると知識が継承されてよいのではないかと物理オリンピック委員会理事長とも話をした。その他、一般の大人向けに物理オリンピックの課題を解説する取組もよいのではないかと。 委員 物理オリンピック出身者が研究室の後輩学生の指導をしていた例もあり、教えあうことは良いと思う。高校時代の専攻と職業選択は違うものだが、理系で培った課題解決能力を生かしてほしい。 事務局 物理オリンピックの招致も含めできると良いと思っている。 委員 物理オリンピックは、世界大会の他に、地区大会のようなイベントが年内常時発生しているのか。 事務局 基本的に年1回の国際大会に向けた国内選考のみとなる。2段階に分けて来年度の世界大会に向けた国内選考を実施している。 委員 国内選考のほか、出身者と会話する機会など応募を考えている方が関われる取組があるとよいのではないかと。 事務局 物理オリンピック委員会も申込者数確保に課題意識を持っており、プレチャレンジのような幅広い方に興味を持っていただくためのプログラムは良いかもしれない。 委員 板橋区から物理オリンピックメダリストを輩出しようという動きも良いかもしれない。
--	---

	事務局 是非そういった機運醸成をやっていききたい。産業ミュージアムでの先端的な取組によって板橋区に住みたいと思っていただけるような流れができると良いと思っている。 委員 前回の第2回検討会で話した物理オリンピックとの連携について、早速事務局が動いてくれたことを喜ばしく思っている。先方のやりたいことも踏まえてよいコラボレーションができるといい。 物理オリンピック以外にも、100~200 人規模の講演会が増えてくるのではないか。その規模のイベントに対応できる会場は施設内に作れるのか。難しい場合は、板橋駅近隣のビルの開発など併せて検討をしていった方がよいのではないか。 事務局 産業ミュージアムは小さめの部屋が数多くあるレイアウトなので、20 人を超えると対応が厳しい。現状、大規模な講演に対応できる区内施設は、産業ミュージアムと離れているが、大山エリアの板橋区立文化会館・グリーンホールがある。 委員 産業ミュージアムはノーベル賞を取るほどの素晴らしい研究者が研究室を構えていた場所だ。勉強後に語り合えるサロンのような場を用意し、勉強とともに研究者の理念やチームで研究に取り組む情熱を伝える場とするのはどうか。近年の若い方は理念を重要視している傾向があるので、研究者の想いを伝えることは理系を目指す方の心に響くだろう。 事務局 普段関わることのできない研究者の方と会話する中で研究者の理念・情熱を感じられるような、ワークショップ、ミニ講義、サロンなどよいと思う。 委員 その他、理系分野の大学生に、今どの施設でも扱わないアナログの基本を教える複数回のインターンシップはどうか。若者はスマホ等、デジタルの扱いに慣れているが、例えばネジをどちらに回すか等、アナログに弱い傾向がある。アナログが分からない人に DX はできない。基本を教えないと人材に
--	--

	育たない。考える力をつけてほしい。
	事務局 この地は板橋区の産業、ものづくりの発祥の地なので、アナログな原理に直に触れてもらいながら技術のすばらしさを体感してもらえると良い。常設展示は場所を取ってしまい、かつ経年によって最新技術でなくなってしまうので、月ごとに変わる産業テーマの企画展が良いと思っている。 ソフト事業について、区内企業とコラボしながら出来ればと思うが、何かアイデアはあるか。
	委員 ものづくりの現場の中身がみられる産業観光ツアーを実施し、製品以外も見られるといいのではないか。
	事務局 製品が産業ミュージアムに持ち込めない場合も想定し、産業観光ツアーも検討している。一事業として、ものづくり現場まで見に行きたい。
	委員 アナログの原理を展示するのはよいのではないか。また、展示について、模型やパネル展示を想定しているが、ふらっと訪れた方向けの説明のみの展示であっても数か月単位で変えていくのか。
	事務局 展示期間のバランスについては引き続き検討したい。例えば、宇宙線観測は特に歴史と紐づいている内容なので固定展示としても良いと思っている。宇宙線観測であれば、この地で観測されていた時代の機器として霧箱やスパークチェンジャーを常設で見せていくのはいいのではないか。
	委員 私のラボではカートに乗るサイズの小さい研磨機を保有しており、自分で材料を研磨するちょっとした体験学習ができる。自分で研磨した材料を顕微鏡で見て学んだり、2つのブロックを平らに磨き真空状態を生んで吸着するかを実験したりといった内容が考えられる。
	事務局

	建物内部にも歴史的価値があるので、電気軌道のレールなど歴史的遺物に説明をつけ、建物自体も学んでいただければと思う。 委員 基本構想の主要機能とソフト事業のキーワードに記載のある「新技術を活用した当時の室内や風景の再現」は、トプコンの技術を活用できるのか。 委員 VR/AR 自体は弊社の技術ではないが、搭載するにあたってのデータ収集は対応できる。 事務局 最近では、部屋の特定のものに目線を向けると詳細説明が浮かび上がるゴーグル型デバイスもある。ゴーグルとモバイルバッテリー程度のサイズのデバイスの組み合わせで、非常にコンパクトである。湯川先生の研究室で装着し、置いてあるものに目を向けると研究内容が表示されるのもいいかもしれない。 委員 基本理念に記載のある、「板橋の産業ブランド向上」とは何か。 事務局 板橋区では、歴史に紐づいて産業が発展し、生活を支え、集積している。産業における地域の魅力や研究者との協働機会等の取組みを発信し、板橋ブランドとして打ち出していき、区外から区内に訪れようという動きを作っていきたい。 委員 理研コンツェルンは王子に集積しており、その派生で近隣の志村に光学系ベンチャーが集積した。光学関連企業が集積し、エンジニアも集まる中でブランドとなった。板橋区に事業所を置けばいいのではないかと若い人が考え集積する流れができると、ブランドになっていくのではないか。 事務局 板橋区としては、産業振興分野において、産業ミュージアムなどの施策を通じて区の魅力を発信することで、産業やものづくりが盛んで素晴らしい街
--	---

とさせていただけるようにしたい。例えば、産業見本市は企業・大学間の交流を喚起しイノベーションエコシステムが起こる場として設けている。

委員

理研の板橋分所時代、閉鎖をきっかけに色々な地域の企業が見学に来て、結果として飛び地連携ができた。産業ミュージアムも、遠方の事業者との連携のきっかけとなり、産業見本市出展につながるのではないかな。

事務局

企業の実証の場として使っていただくことも一案と考えている。例えば、食品企業が新製品の消費者調査の場として使ったり、研究者がいま開発している新技術を実証したりとすることなども考えられる。面白い実証に関われることは来場者にとっても良い経験となる。

委員

理研時代にも長い廊下でデモ機・チラシを展示するなど実施しており、十分実施可能かと思う。夕方に西日が入る湯川研究室の雰囲気はとても良く、ここで立食形式の交流会をしてはどうか。

委員

基本構想・基本計画の位置づけについて、長年議論された上位計画との整合性はきちんと図ってほしい。例えば、史跡公園には「史跡陸軍火薬製造所」があるので、産業ミュージアムにも火薬のキーワードを盛り込まないのかと違和感を持つ方も出てくるだろう。自身は野口研究所との棲み分けを知っているため違和感はないが、他の計画との整合性は重要である。

本施設は「産業ミュージアム」と称されており、博物館として保存と活用両方の意義を持つ施設なので、湯川研究室や実験の棚など歴史的遺物を残すことも重要である。

事務局

旧野口研究所を歴史を語るガイダンス施設と位置付けている。また、産業ミュージアムにおける保存の観点も一定出していきたい。当時そのままの姿に残されている建物自体の歴史を伝えたい。また、理研が発足してから閉じるまでの研究者の変遷を説明したい。先ほど話に出た火薬の部分についても、陸軍時代の黒色火薬とは別物だが、板橋区花火大会に絡めた花火づくり体験を模型でやってみることは良いかもしれない。

	委員 平和産業に転換した後の火薬になるだろう。また、理研で利用していた事務用品や書籍、メモなど価値のある歴史的遺物が残っている。宿直室の古い木製の二段ベッドを撤去する際に壁紙からかなり昔の新聞紙を発掘した。内容というよりも日付が面白いと思っている。こういったものを一部でも公開展示されれば雰囲気が出てくるだろう。 委員 展示と保存は矛盾する部分もあるが、施設の保存についてはどこが検討をしているのか。 委員 生涯学習課で対応している。歴史的遺物もずっと展示していると湿気てしまうので保存できるケースに入れる必要があるが、なかなか高価であることは課題。 事務局 建物自体と歴史的遺物の保存と展示については、生涯学習課の教育委員会とも連携しながら検討したい。 委員 どの部屋を入室可能とし、どの部屋を入室を制限するかも論点だ。 事務局 広い施設ではないので、活用できる部屋は活用し、出来ればどの部屋にも入れるようにしたい。 委員 施設に入る導線についても、施工準備と絡めて検討できると良い。 事務局 来年以降で詳細を詰めていきたい。 委員 使用目的をもとに部屋の大きさ・環境・設備に準じて事業を割り当て、小
--	---

	さい部屋については施設を運用しながら機能を変えていき、使い勝手を良くしていくのは良いだろう。湯川先生の部屋は黒板が部屋の前後にあるので議論やセミナーに良いだろう。 事務局 湯川先生が過ごした部屋でコミュニティ事業も一案と考えていた。芝生エリアで収穫した夏ミカンやびわ、梅の実の果汁を入れた飲み物の販売なども面白いのではないかな。 前回幅広いターゲットを、とご意見をいただいたので、未就学児を中心とする子どもについても検討をした。公園に来るようにふらっと来てもらい、知育玩具や育成につながるようなものに触れられると面白いのではないかな。幼少期に産業ミュージアムで遊んでいた子どもが、物理オリンピックや進路選択の時期に戻ってくる流れを期待したい。一部そのようなエリアを設けても良いのではないかなと思っている。 委員 理科好きの親を育てるのも重要である。幼稚園児の親向けにセミナーを実施している。親子で楽しめたり、簡単な動画視聴で実施出来たりするような実験が良いのではないかな。小さい子のなじみのある施設になると良い。 委員 女性理系人材の育成には親の理解も必要だ。 委員 理研の一般公開で、分子模型を見学者に作ってもらう企画をしたが、子供たちが黙々と取り組んでいた。いつか役に立つだろう。そういうものも教材としていいのではないかな。 事務局 以上にて質疑を終了とする。次回の第4回検討会では、基本計画についても議論したいと考えている。9月10日(水)午前10時～12時に板橋区役所南館4階災害対策本部室にて実施する。9月上旬に改めて事務局より各委員にご案内をする。第5回以降の検討会は、7月下旬以降に日程調整を実施する。 会長
--	--

	これにて第 3 回検討会を終了とする。
所管課	産業経済部 産業振興課 産業遺産担当係 （電話 03-3579-2430）